

東関東協組だより



創刊 平成 22 年 4 月 15 日発行

東関東生コン協同組合
〒120-0036
東京都足立区千住仲町 19 番 8 号太陽生命ビル
電話番号(03) 3879-5141
発行責任者 戸島 伸 一

～ 協組スケジュール ～

- 1月16日 執行部会・常任理事会
- 1月17日 営業全体会議
- 1月23日 執行部会・常任理事会
理事会・品質監査部会
- 1月30日 執行部会・常任理事会
- 2月 6日 執行部会・常任理事会
- 2月13日 執行部会・常任理事会
技術部会
- 2月14日 営業全体会議
- 2月20日 執行部会・常任理事会
- 2月27日 執行部会・常任理事会
理事会
- 3月 6日 執行部会・常任理事会
- 3月13日 執行部会・常任理事会
技術常任部会
- 3月14日 営業全体会議
- 3月20日 執行部会・常任理事会
- 3月27日 執行部会・常任理事会
理事会

明けましておめでとうございます。





高品質な生コンを安定供給し
適正価格を頂く!!

理事長 小野 健司

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、平素より、東関東協組の運営に種々ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
当協組は本年7月に設立50周年を迎えます。昭和44年の設立以来、組合発展のためにご尽力頂いた関係各位に改めて感謝申し上げるとともに、歴史の重みを感じつつ、次の50年に向け全力を尽くす所存です。
昨年を振り返りますと、昨年を表す漢字が「災(わざわい)」であったことに象徴されるように、北海道の大地震や大型台風の度重なる来襲により多くの人命が失われるという非常に辛い年でした。「コンクリートは人の命を守る」との認識を新たにし、防災対策、減災対策を含め、地域の発展に寄与すべく引き続き協組運営に精励してまいります。
さて、当協組の現況ですが、平成30年4月から12月までの出荷実績は30.5万m³(前年比111%・予算比97%)であり、比較的堅調に推移いたしました。
通期では40万m³(前年比110%)となる見込みであり、需要の先行きは明るさを取り戻しつつあります。このような出荷状況のなか、骨材の値上げ、輸送費の上昇に加え製造設備の維持更新費用も増大傾向にあり、昨年の2月から価格改定をお願いいたしました。
「生活を守る適正価格の確保」の観点から、上記の状況を丁寧に説明しご理解を頂いた結果、「積算資料12月号」において、300円の表示改定を成し遂げ、一定の成果を上げることができました。
しかし、その後も原材料、輸送費に加え、残コン、戻りコン由来の産廃処理費用も更に上昇してきており本年6月より、700円の価格改定することを理事会決定いたしました。満額回答獲得に向け、協組全体が一枚岩となって対応いたす所存です。
年始にあたり、「高品質な生コンを安定供給し適正価格を頂く」そして「社会貢献する」との考え方のもと、「安全保安衛生の取り組み強化」を行ってまいります。
安全への取り組みは、ものづくりに携わる我々にとってすべてに優先する最重要テーマです。技術幹事会において、工場長が2人1組で全工場の安全パトロールを実施し、設備の不安全箇所の指摘、改善や不安全行為の撲滅に向けた取り組みを実施しております。
安定供給の観点からは、バッチャープラントのトラブル対策研修会をプラントメーカーの研修所にて行いました。
社会貢献の前提として、コンプライアンスの順守は必須条件であり、理事会や各種委員会の際、その重要性を常に発信し続けて参ります。
最後にお取引様や関係各位に当協組発展のために引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆様にとって良い年になりますよう祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

登録販売店会議を開催

『生コンクリート価格改定』



東関東生コン協同組合では、平成30年11月28日開催の理事会において、「生コンクリート価格改定」を理事会決定いたしました。

- 1. 値上額:1m³当り 700円 (標準品18-18-20N)
- 2. 実施時期:2019年6月1日以降引合受付分より

協組では、平成30年2月に生コン価格の改定を実施させて頂きました。得意先である建設業界や登録販売店の皆様方のご指導ご鞭撻によって市場への浸透を果たすことが出来て参りました。

その結果、経済調査会(積算資料)の表示価格も微増ではありますが変更される事となりました。しかしながら、2月の価格改定の後に、セメント価格が大幅に値上げされ、加えて運転手不足に端を発した庸車費用の高騰・更なる骨材値上げ・産業廃棄物処理費用の増大等、様々なコストアップ要因の連続により、協組組合員各社の経営は厳しい状態が続いております。

また、各工場では設備更新がままならない中で設備老朽化が進み、メンテナンス費用の増大もさることながら、早晚設備更新が必要となる事が予見されます。

生コン経営において、これらのコストアップは自社で吸収できるレベルを超えており、限界状態となっております。

このため、止む無く前年度に引続き2年連続とはなりますが、生コンクリートの品質や安定供給の維持のため、販売価格への転嫁をお願いせざるを得ない事態となりました。

理事会終了後に登録販売店会議を開催して価格改定に至った経緯や事情を説明し、得意先である建設業界への対応を製販一体となって行なう事に理解を求めました。

消火用水搬送訓練を実施



東関東生コン協同組合では、平成30年5月11日に草加八潮消防組合と「大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定書」の締結を行ないました。

この協定に基づき、昨年11月18日に開催された八潮市総合防災訓練において、協組加入工場ミキサー車による“消火用水供給支援”の訓練を行なったものです。

訓練は地元企業や団体及び市民など約620名が参加して実施され、はしご車による救助訓練や食料・飲料水配給の訓練なども行われました。

また、八潮市の大山忍市長より小野健司理事長に対して丁重なる御礼の言葉も頂きました。

《 理 事 紹 介 リレー 》

1982年の出来事とお金について

日立コンクリート株式会社
常務取締役 山崎 正弘



新年明けましておめでとうございます。本年は平成最後の年となります。新元号が気になるところではありますがその道の先生方？がご苦労されていることでしょう。

私は1982年(昭和57年)に日立コンクリートに入社し、37年目になります。年数ほどに功績を残しているかは？疑問であります。当協組の前理事長は勤続50年の節目？を迎えており(通過点)、私の生き字引であります。

入社当時の1982年の出来事・流行については、かなり記憶に残っていることが多いので改めて主な出来事を調べてみました。

- ・鈴木善幸首相辞任 10月(中曽根康弘内閣が発足 11/27)
- ・ホテルニュージャパン火災 2/8(33名の死者を出した、1996年まで放置されていたが解体)
- ・日本航空350便墜落事故発生 2/9(片桐機長逆噴射は止めて下さい)
- ・500円硬貨発行 4/1
- ・東北新幹線開業 6/14、上越新幹線開業 11/15
- ・中央自動車道が全線開通でアクセスが改善された
- ・タモリ司会の番組「笑っていいとも！」が放送開始 10/4(2014年3月31日まで昼帯1時間生放送)
- ・テレホンカード発売(現在は携帯電話普及のため公衆電話が希少)
- ・映画(ET、ランボー、蒲田行進曲、etc.)



他にも、いろんな出来事が数多くあった年に思われます。500円玉硬貨が昭和57年4月1日発行ということ、私の入社と同じ年の縁で、新年の話題としてお金について調べてみました。現在流通している紙幣、硬貨は次のものです。(旧紙幣及び硬貨も使用可能です)

銀行券(通称、お札&紙幣):一万円券、五千円券、二千元券、千円券

貨幣(通称、硬貨&ジャリ銭?):500円、100円、50円、10円、5円、1円



500円玉は当初、100円玉、50円玉と白銅製でしたが、偽装硬貨が蔓延したため、平成11年をもって製造打ち切り、平成12年からは現在のニッケル黄銅製に変更されたものになっています。発行当初は物珍しさから、作っても作っても退蔵されプレミアム付きで販売されるなど、有り得ない事象も起きた、その後順調に流通し始め昭和60年頃にはほぼ、500円札を置き換えることができたようです。

近年は、現金以外の決済手段が発達してきたためか、景気の低迷の影響か硬貨発行枚数が非常に少ない状況が続いていたようですが、平成26年に数年ぶりに市場流通向けの50円玉、5円玉、1円玉が発行されました。消費税が5%から8%になったためかと思います。2019年10月1日から消費税が10%になる予定なので、また、5円玉、1円玉の需要が減って希少価値が出る？かもしれません。

その他には、記念硬貨が数多く発行されていてほとんど知らない方が多く、オリンピック、ワールドカップ、東日本大震災復興事業記念 etc.・・・、都道府県毎に千円硬貨、500円硬貨がある事を知りました、特別な事柄としては天皇陛下御在位60年の記念10万円金貨が昭和61年から62年に発行されていて、一番高価です。私もいくつかの記念硬貨は持っているがにわか収集家にもなれないレベル、記念硬貨には希少価値があるのかネットを見ると価格が倍以上になっている物もあるようです。

《ぶらり東関東》

北千住飲食店紹介 (No.8)

北千住

北千住おすしやさんの家
たなか



墨堤通り(千住関屋町交差点)から少し入った静かな住宅街にある「北千住おすしやさんの家 たなか」。店主のこだわりは色々あり、中でも魚は国産天然物、シャリはその日に精米、酢は最高の米酢と赤酢と黒酢を使用するなど、無添加で体にやさしい鮓を提供するように心がけているとの事！

当組合も年にほんの数回ですが、鮓といえば「たなか」に決めています。そんな店主がこだわりある鮓を握っていたとは、そこまでわかっている人は組合関係でいないかもしれません。

新鮮なネタを出す鮓でだけでなく、手間暇をかけたネタも揃えていて、店主の仕事ぶり感が漂う鮓も揃っています。

北千住にお越しの際は予約必要ですが、ぜひ足を運んで頂き、手間暇かけたネタで、握った鮓を食べてみてはいかがでしょうか！



住 所 東京都足立区千住東1-4-7
電 話 03-6806-1078
営業時間 昼の部:11:00~13:00 夜の部:17:00~22:00
(昼の部、夜の部共に要予約)
定 休 日 不定休
U R L <http://www.sushi-tanaka.net/>

平成30年度実績

単位(m・%)						
月	29年度実績	前年実績比	30年度想定	30年度実績	前年実績比	想定比
4	34,943.75	79.00	37,000	39,684.35	113.57	107.26
5	27,294.55	69.97	34,000	33,713.55	123.52	99.16
6	34,131.60	60.29	37,000	38,561.50	112.98	104.22
7	29,517.50	45.08	37,000	36,849.20	124.84	99.59
8	28,618.20	64.83	34,000	32,949.25	115.13	96.91
9	32,617.90	78.15	36,000	27,628.85	84.70	76.75
上期合計	187,123.50	64.26	215,000	209,386.70	111.90	97.39
10	27,054.40	62.78	34,000	29,783.45	110.09	87.60
11	31,368.55	68.25	33,000	31,792.05	101.35	96.34
12	29,192.15	66.65	32,000	34,086.75	116.77	106.52
1	24,603.25	68.51	29,000		0.00	0.00
2	27,291.40	67.11	27,000		0.00	0.00
3	37,448.85	87.32	30,000		0.00	0.00
下期合計	176,958.60	70.13	185,000	95,662.25		
年度計	364,082.10	66.98	400,000	305,048.95		

50周年記念事業として
協組ロゴマークを制定



協組ロゴマーク

東関東生コン協同組合は、昭和44年(1969年)7月7日に上野精養軒で創立総会を開催してから本年(2019年)7月に50年目を迎える事となりました。

記念事業の一環として、協組では『協組ロゴマーク』を新たに制定する事を決定し、昨年8月31日に協組関係者を対象にロゴマークの募集を致しました。

公募に対して、協組内外の関係者から21作品のデザイン案が寄せられましたが、応募作の中から協組技術部 土屋 豊氏の作品を最優秀作品として採用する事に致しました。

土屋氏のロゴマークは、生コンミキサー車のドラムの形をかたどったデザインで、東関東の“H”、生コンの“N”、協組(コーポラティブ)の“C”を図案化したものです。また、斜めに走る赤色は“タスキ”を象徴しているとの事です。

今後、このロゴマークによる協組ピンバッジを製作する他、名刺や封筒等への展開を図る予定であります。